瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

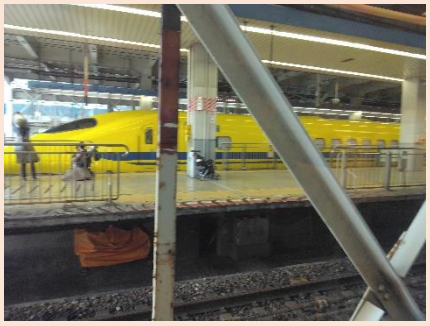
令和6年11月22日（金） NO. 20 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

行ってきました、修学旅行

去る11／5（火）～7（木）の3日間、2年生は関西(京都自主研修・USJ)福岡方面(関門海峡トンネル・太宰府天満宮・キューピー鳥栖工場)に修学旅行に行ってきました。当日朝は天気良し、体調不良者なしで出発式を済ませ、心弾む中で保護者や教職員に見送られ修学旅行がスタートしました。

今回の修学旅行の学年テーマは「瑞穂中生として恥じないあいさつや行動をしよう」でした。このテーマに加えて校長からは「One for all/ All for one（一人はみんなのために、みんなは一人のために）」を意識して行動することを伝えました。具体的には、『集団(班)生活の中で、一人ひとりが自分の我儘を出したらまとまるものもまとまりません。修学旅行はあくまでも学習活動であり、集団(班)生活を通して様々なことを学ぶ機会でもあります。従って、「自分(たち)だけが楽しい。」ではなくて、いろんな場面で我儘を控えながら、折り合いをつけてより多くのみんなが楽しい修学旅行になるように努力、頑張ろう。』ということです。これは生徒たちへのお願いでもありました。生徒たちは学年テーマとこのお願いを意識しながら3日間を過ごしてくれたと思います。特に今回の修学旅行で良かったところは、①約束(決められた)の時間に遅れることがなかったこと。②3日間を通じて体調不良を訴える生徒が一人もいなかったこと。②については何回も修学旅行引率経験のある養護教諭も「こんなことは初めてです。」と生徒を称える素晴らしさでした。

また、3日間ともに天気に恵まれ、貴重な時間を過ごすことができました。中学校生活において修学旅行は生徒たちにとってはビッグイベントです。それが無事に終了することができました。生徒たちは修学旅行で、思い出という「記憶」と、写真等の「記録」の2つのお土産を持ち帰りました。その2つが土産話となり、帰宅後、各ご家庭で盛り上がったことだと思います。この3日間の修学旅行で深まった仲間との絆、信頼関係をエネルギーに変えてこれからの中学校生活をより素晴らしいものにしてくれるものと期待しています。



〇博多駅着。いざ、新幹線で京都駅をめざす。何と隣のホームに「ドクターイエロー」 。そして、京都駅着。

〇一番の楽しみである USJ に到着。みんなの笑みがこぼれます。しっかり楽しみました。

〇関門海峡では地下トンネルを使い本州と九州を往復しました。余談ですが、太宰府天満宮では女性お笑い芸人さんのロケにも遭遇しました。

人権講話

11月19日（火）に人権講話を実施しました。講師には、車いすバスケットボールチーム「長崎サンライズ」から**川崎　寿洋さん（写真右）と溝口　良太さん（写真左）**のお二人をお招きしました。

今回の人権講話の**目的**は次のとおりです。講話の最初にみんなで確認し意識づけを行いました。

「車いすバスケットボールという障がい者スポーツの競技をとおして、その実情を知り、体験することにより、障害に対する理解を深め、共生社会の実現のために大切なことを感じ取る機会とする。」

講話の最初に、川崎さんと溝口さんのウォームアップの姿を見せてもらいました。車いすを操る華麗な姿やパス回し、シュートなど、生で見る感動がありました。その後、各学年の男女それぞれが川崎さんチーム、溝口さんチームに分かれ、実際にゲームを楽しみました。最初はみんな車いすの扱いに苦労していましたが、次第にコツをつかみ、移動や転回も上手になってきました。シュートの成功率も次第に上がり、生徒たちの順応力の高さも見せました。 *※写真中の生徒の姿は小さいですが、ゲームの雰囲気を感じてもらえたら幸いです。*

ゲームが終わると、川崎さんから貴重なお話がありました。義足の着け方やその能力。自分の障害と向き合った時の心境。そして、車いすバスケットボールとの関わりや障害についての考え方等。話を聴きながら川崎さんの車いすバスケットボールを通した生き方、覚悟に触れた気がしました。

また、最後の質問コーナーでの、溝口さんが最初に自分の障害に向き合った時の心境や車いすバスケットボールとの出会いについては、まさに側にいた人との運命的なものを感じました。ちなみに、溝口さんは国の強化指定選手の経験もある有能な選手です。本人の夢も全日本のメンバーに入り、頑張りたいということでした。その話を聴いて、ぜひその夢をつかんで欲しいと生徒たちも教職員も願ったはずです。これからの活躍に大いに期待するとともにみんなで応援していこうと思いました。

今回の人権講話で生徒たちは貴重な何かを感じ取ってくれたと確信しています。そして、その感じ取ったことをこれからの生活に活かしていくはずだと期待しています。川崎さん、溝口さん、ありがとうございました。

なお、今回はひまわりテレビ、長崎新聞、島原新聞からの取材がありました。ひまわりテレビの放送日は下記のとおりです。良かったらご視聴ください。長崎新聞では本日（11/22）記事として記載されています。

12/3(火) 7:00 10:00 12:00 15:00 19:00 22:00　12/7(土)8(日) 8:00 20:00